

【夏季集中／2単位／環びわ湖大学・地域コンソーシアムSDGs単位互換科目】

「SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション-近江のくらしとなりわい-」

趣旨：

近江・びわ湖を深堀りすると、ひろい世界につながっていた——。加盟国の圧倒的賛成をもって採択された「SDGs (Sustainable Development Goals: 2015年国連サミット)」をめぐる動きに見られるように、持続可能な共生社会の実現を目指す取り組みが、世界各国で加速している。滋賀県はこの潮流にいち早く呼応し、世界共通の目標を滋賀というローカルな現場で達成することに名乗りをあげ、注目を集めている。

日本の縮図とも言われ、日本の歴史の舞台裏としても古来重要な位置を占めてきた近江。里山、人里、里湖、里島それぞれの風土に根差して鍛え上げられた近江各地のくらしとなりわい。そこには人々が、また、人と自然が「ともに、ここで、無事に」生きていくために必要な知恵と経験が蓄積されており、それらの多くは、単にローカルな経験に留まらず、持続可能な世界の実現に資する普遍的価値をもつ。

当科目では、近江のくらしとなりわいの現場における様々ないとなみを事例として、持続可能な共生社会の実現に必要な知見を導き出すとともに、SDGsの考え方に照らして、ローカルな現場の実践・課題と、グローバルな実践・課題とがどのように関わっているのか、その関わりによって、どんな未来(グローバル・イノベーション)が実現できるのかについて、様々なゲストと共に議論する。

開講時期：8月24日(金)、25日(土)、26日(日)の3日間(夏期集中科目)

会場：1日目：滋賀県庁(北新館3階中会議室)、  
2日目：滋賀県立大学、3日目：滋賀県立大学(いずれもA2-202教室他)

定員：100名(環びわ湖大学・地域コンソーシアム加入大学の学生 内訳⇒県立大学生85名、公開講義受講生2名、滋賀大学生4名、立命館大学生8名、龍谷大学生1名)  
なお、25日、26日の1・2時限目は、一般も聴講可の公開講義とする

担当：上田洋平、鶴飼修、ゲスト講師

協力：滋賀県庁

授業計画：

日程		会場	種別	内容
1日目 (8/24)	1限 9:00-10:30	滋賀県庁	レクチャー①特別ゲスト	「ゴールから始める——SDGsとは」講師：国連広報センター所長代理・妹尾靖子氏
	2限 10:40-12:10		レクチャー②特別ゲスト	「なぜ、いま滋賀からSDGsなのか」講師：滋賀県知事・三日月大造氏
	3-5限 13:10-18:00		レクチャー③-⑤現場講師 & ディスカッション	「誰ひとり取り残さない滋賀へ」講師：県庁各課担当職員
2日目 (8/25)	1限 9:00-10:30	滋賀県立大学	レクチャー⑥特別ゲスト	「グローバルイノベーション・企業の挑戦①地域と企業」琵琶湖汽船川戸良幸氏、滋賀 GPN 事務局長・辻博子氏、油藤商事・青山裕史氏
	2限 10:40-12:10		レクチャー⑦特別ゲスト	「グローバルイノベーション・企業の挑戦②世界と企業」講師：SDG パートナース(有) 代表取締役 CEO 田瀬和夫氏、朝日新聞記者・北郷美由紀氏
	3-5限 13:10-18:00		ワークショップ①SDGsカードゲーム	県内企業関係者と学生とで SDGsカードゲームを用いたワークショップ&ミニレクチャー ファシリテーター：風かおる氏及び NPO 法人環人ネット
3日目 (8/26)	1限 9:00-10:30	滋賀県立大学	レクチャー⑧特別ゲスト	「滋賀の“ビジネス”モデル」講師：漁師・戸田直弘氏、農家・堀彰男氏、林業家・松尾扶美氏、漁師・奥村繁氏、沖島離島振興協議会・本多有美子氏
	2限 10:40-12:10		レクチャー⑨特別ゲスト	「わがムラのSDGs」講師：ロハス・ビジネス・アライアンス 大和田順子氏
	3-5限 13:10-18:00		ワークショップ②わたしのアクションプラン ネットワーキング&交流	地域実践者・市民の方々と学生とで SDGs達成に向けたアクション・事業プランを考える 後半は交流の時間とする

